

平成30年 9月25日

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	浜田県土整備事務所	氏名	酒井 司
派遣先 団体名	NPO法人 息域スペース ポコ・ア・ポコ		
<p>① 研修の日時 平成30年9月4日(火)、5日(水)、11日(火)～13日(木) 計5日間(9:00～16:00)</p> <p>② 研修の内容</p> <p>4日 自己紹介、<u>共同作業</u>(自主製品の作成)、<u>音楽療法</u>(午後)</p> <p>5日 ポコ・ア・ポコの成り立ちや活動・役割など知る(代表による講話)、共同作業、<u>生け花体験</u>(午後)</p> <p>11日 終日 共同作業</p> <p>12日 <u>デイサービスの日</u>、自主製品の補充(午後、協力施設3箇所巡回)</p> <p>13日 <u>地域における社会資源を知る(作業所見学)</u>、共同作業、研修の振り返り (日々のルーティンな取り組み:朝礼、ラジオ体操・ストレッチ、めい想時間(15分)、共同作業、掃除、終礼。ただしデイサービスの日は、共同作業無し。)</p> <p><b>【共同作業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当法人は、主に不織布(ウエス)等を利用して、ふきとりな(用途:台所用ふきん等)、や吸油玉(用途:食用油の吸い取り)等の自主製品を作っている。研修期間中は、それらの裁断や縛る作業、さらに製品紹介チラシの色塗りや袋詰め等の作業を行った。</li><li>・12日午後、普段から自主製品を置いてもらっている施設のうち、3箇所(ラポール宝生苑、くしろ宝寿苑、雪舟園)へ、挨拶がてら製品補充に出向く。</li></ul> <p><b>【音楽療法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2名の講師の方と共に、ジブリシリーズ等歌ったり、ゲーム形式で楽器演奏等して楽しく過ごす。和気あいあい。最後に、ポコ・ア・ポコの歌を合唱。</li></ul> <p><b>【生け花体験】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・華道の先生を招いて、まずは各人が自由な発想で黙々と作業に集中。その後先生から講評をいただき、より美しく見える助言をもらう。</li></ul> <p><b>【デイサービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・月2回の企画。今回は、柿本人麻呂の生誕地とされる益田市戸田町にある戸田柿本神社参詣後、<sup>おおどうやま</sup>大道山登山を試みる。車である程度登る予定であったが、未舗装による路面状態不良により途中で断念。ハプニングはあったがドライブ中の会話等なんだか楽しい一時となった。これも良い思い出。急きょ予定を変更し、石見空港の公園(風の丘広場)にてみんなで昼食。</li></ul> <p><b>【地域における社会資源を知る】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市内の作業所3施設(多機能支援施設「はっぴーはうす」、就労継続支援B型施設「たんぽぽ」「ひまわりの家」)を見学。施設側の説明を受け、利用者の作業の様子を見る。定時の休憩を取りつつ、単調だが細かい作業を集中してこなされていた。</li></ul>			

### ③ 研修の感想

我が家の玄関にあるお気に入りのカレンダーは、相田みつを氏がコメントした日めくりである。その中に、「・・・お金は無いよりあった方が便利」という行がある。

確かに自分が日々携わっている仕事は、事柄と手続き、そしてお金の3点セット。我々が想像しうるビジネス界は、問題解決策の主な手段はお金だと言っても過言ではない。

それしか知らない（というか、その中にいけば先の見通しがついて正直安心感があることは否めない）自分が、今回一念発起して当該NPO法人での研修に手を挙げた。

福祉業界を知っていると知らないとか、自分の実体験で〇〇だからどうだとか・・・そんな論拠を並べたところで、利用者とうまくコミュニケーションが取れるとは限らない。事前準備（調査）も大切だが、まず現場にて自然体で接する、大げさでなくまさに自分が培った経験や人生観が試された瞬間であった。これはかなり苦しいが新鮮な体験だった。

研修といえば企画盛り沢山の非日常的で特別な日程になりがちだが、何気なく普段と変わらない「日常」を利用者と一緒におしゃべりしながら過ごせて、それがとてもよかった。何をすることもおしゃべり付きで、とにかく笑いのある5日間。

小川代表の講話や他の支援機関見学などを通じて、再燃した思いがある。つまり誰でも自分が直接関わる利用者に対して『思い入れ』は生じる。したがってその人の悩み事や生活の質向上等のために、日々所属する組織内で悩みもがき、併せて他組織との『連携』も模索する。永遠の課題だが、それら思い入れと連携をいかにバランスよく交えてコーディネートしていくか・・・それを何らかの形（ネットワーク等）にできないか探求しなくては・・・。これまで周りとの関わりを苦手としていた自分の課題としたい。

そして最後に、普段と変わらない雰囲気と対応で温かく迎え入れてくれたスタッフの方々、そして利用者の皆様、本当にありがとうございました。

### ④ その他特記事項

特になし。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。